

**佐世保市議会**  
**平成30年6月定例会 一般質問順序**

質 問 日	順序	議席 番号	氏 名	所 属 会 派	質問方式	質問 時間
6月15日 (金)	1	5	湊 浩二郎	市政クラブ	【一問一答方式 (2回目から)】	30分
	2	22	早稲田 矩子	社会民主党	【一括方式】	25分
	3	6	萩原 活	自民党市民会議	【一問一答方式 (2回目から)】	30分
	4	9	永安 健次	緑政クラブ	【一括方式】	30分
	5	15	草津 俊比古	自民党市民会議	【一括方式】	30分
6月18日 (月)	6	30	明石 功	公明党	【一括方式】	30分
	7	21	小野原 茂	市民クラブ	【一括方式】	30分
	8	14	崎山 信幸	自民党市民会議	【一括方式】	15分
	9	17	林 健二	緑政クラブ	【一問一答方式 (2回目から)】	30分
	10	1	橋之口 裕太	市政クラブ	【一問一答方式 (1回目から)】	15分
6月19日 (火)	11	18	田中 稔	緑政クラブ	【一括方式】	30分
	12	23	久池井 一孝	市政クラブ	【一括方式】	30分
	13	10	森田 浩	公明党	【一括方式】	30分
6月20日 (水)	14	8	北野 正徳	緑政クラブ	【一問一答方式 (1回目から)】	30分
	15	4	永田 秀人	社会民主党	【一問一答方式 (2回目から)】	20分
	16	3	久野 秀敏	市民クラブ	【一括方式】	30分
	17	2	久保 葉人	自民党市民会議	【一問一答方式 (2回目から)】	30分

# ○ 湊 浩 二 郎

( 3 0 分 )

【一問一答方式（2回目から）】

## 1 佐世保市における子どもの医療費助成制度のあり方について

佐世保市では独自の子どもの医療費助成制度として、乳幼児福祉医療制度と小中学生福祉医療制度があります。

両制度とも医療機関1カ所につき、1カ月の受診日数が1日の場合上限800円、2日以上の場合上限1,600円の自己負担額を差し引いた額を助成、院外処方の薬代は全額助成となり、子育て世代の支援策としては大変有効かつ有益なものです。

しかしながら、小中学生福祉医療制度では、受診した医療機関の窓口で健康保険の自己負担額3割分を支払い、その後、福祉医療費支給申請書に領収書等を添えて市役所へ提出し、後日助成金が保護者名義の銀行口座へ振り込まれるという煩雑かつ日数を要する手続きがとられています。

乳幼児福祉医療制度では現物給付方式が採用されているのに、小中学生福祉医療制度ではなぜ市民に医療費を立てかえさせ、助成金が振り込まれるまでの経済的な負担を強いるのですか。

この制度の目的は、子育て世代の経済的負担を軽減し、乳幼児や子どもたちの病状が重篤化しないように受診しやすくするためのものだと言っています。

一日も早く立てかえ払いをやめ、医療機関の窓口で健康保険の自己負担額3割分負担を軽減する現物給付方式への移行を望むのが市民の多くの声です。

このことを市長はどのようにお考えかお尋ねします。

## 2 フィルム・コミッションの取り組みについて

フィルム・コミッションの先進的な取り組み事例として、北九州市があり、同市は1989年から映画やドラマ等撮影誘致と支援に取り組み、2000年には、北九州商工会議所、北九州活性化協議会、北九州青年会議所、西日本産業貿易コンベンション協会、北九州市観光協会とともに北九州フィルム・コミッションを設立しました。365日・24時間にわたる撮影支援により、日本では不可能と言われていた大規模撮影の実現などにより、多くの作品の誘致に成功していると聞き及んでいます。有名な作品としては映画版「相棒」や「MOZU」、EXILEプロデュースの「HIGH&LOW」、そして「図書館戦争」やハリウッド映画の「アウトサイダー」等、数多くあります。最近タイ国の連続テレビドラマのロケ地としても撮影が行われており、国内外から多くの観光客が映画等の撮影場所をめぐる「聖地巡礼」に訪れ経済波及効果も上がっています。

佐世保市も「坂道のアポロン」が全国で上映され、大変好評だったと聞き及んでいます。そして、佐世保市の魅力がより一層拡散したのではないかと思います。

そこで、この機会を逃さず、映画、テレビドラマ、CM等の撮影誘致を積極的に取り組むべきであると思います。

このことを市長はどのようにお考えかお尋ねします。

]

### 3 都市公園のあり方について

平成29年度の補正予算で松浦公園のおよそ半分が観光バスの乗降場として整備され、暫定的とはいえ市民の憩いの公園の一部が失われました。その代替の公園整備地として、現在、佐世保市交通局が管理運営している、玉屋デパート横の市営島瀬駐車場が最適でないかと考えます。この駐車場は昭和40年頃に県の許可を得て、名切川の上部をふさいで駐車場にしたものであり、既に50年以上経っています。長崎市の銅座や雲仙市にも同様な駐車場がありましたが、駐車スペースの老朽化が原因で陥没し大きな事故となっています。今は駐車場部分は完全に撤去され、きれいな河川として生まれ変わっています。この市営島瀬駐車場も崩落する可能性があり、危険と思われる状態のまま市民に使用させるより、仮に管理運営する佐世保市交通局が今年度末に廃止された場合には全部撤去し、河川を利用した親水公園として再生することができれば、市民の新たな憩いの場所として最適であり、中心商店街の集客力強化にも資すると思いますが、市長のお考えをお尋ねします。

### 4 プロポーザル方式による契約実施に関する統一基準（ガイドライン等）の策定について

プロポーザル方式の法的な位置づけは、地方自治法第234条第1項及び第2項、並びに地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の「契約の性質又は目的が競争入札に適しないもの」を根拠とする随意契約の一形態であるとされています。近年は佐世保市においても、プロポーザル方式による随意契約がふえてきており、今後さらに市の重要施策においてもこの方式による事業者の選定が行われる予定があると聞き及んでいます。先進都市ではプロポーザル方式の実施に関する統一基準（ガイドライン）や、実施要綱等によるルールを示されていますが、本市では策定されていません。

そこで、本市においてもプロポーザル方式の実施に関する統一基準を設けるべきであると考えますが、市長の見解をお尋ねします。

# ○ 早 稲 田 矩 子

( 2 5 分)

【一括方式】

## 1 カジノを含む I R 誘致の問題について

今国会では「特定複合観光施設区域整備法案」の審議が行われている。その法案には国内に置くカジノは現段階で3カ所、一番問題とされているギャンブル依存症対策に対しては、入場回数の制限、入場料金の設定などが書かれている。また、安倍首相自身、カジノ誘致で地元活性化となり、経済成長につながると豪語している。果たしてそうなのか。国内3カ所となると中央地域、北海道地域、九州地域と考えた時、手を挙げている長崎県佐世保市に来る可能性は非常に大きいと言われる。カジノ誘致に関わる問題は、一昨年の I R 推進法で入場対象者を富裕層外国人のみではなく、7割を日本人にするという方向に変わってから非常に大きくなっている。

- 日本リサーチセンターが調査した世論調査では、「カジノを含む統合型リゾート」の整備を推進することに対し、反対が賛成を上回っている状況である。このような世論調査の結果に対し、佐世保市としてはどのような見解を持っているのか。
- I R 誘致に際し、市民との合意形成はどのように考えているのか。
- 特定複合観光施設区域整備法案では、カジノ行為に対する依存の防止のための措置を盛り込んでおり、カジノ施設の運営に伴う有害な影響の排除についても、地方公共団体は国との適切な役割分担のもと実施する責務を有するとある。佐世保市としてはこれら有害な影響についてどのような対策がとれるのか。
- ハウステンボス地域にカジノが置かれた場合、佐世保市の活性化や経済成長につながるのか。

## 2 佐世保市立小中学校の教職員等の勤務態様と雇用条件及び児童生徒への教育保障について

学校の教職員の働き方が大きな問題になっている。教育に係る仕事の長時間労働の対策にやっと手がつけられてきた。しかし、既に学校では、子どもたちへのさまざまな対応、保護者及び地域への対応など、教員に代わって対応できるように多くの職種の学校職員が配置雇用されている。子どもを見守り育てる学校では重要な役割を担っている人たちである。

- 佐世保市独自で雇用している学校職員の職務・身分・雇用条件の実態について
- 教師の業務は、授業だけではなく教育評価など、多岐にわたる。これまで課題とされてきた「子どもと向き合う時間の確保」はどのようになされてきたのか。
- 児童生徒への授業の保障について、教科担当者不足のため授業が実施されなかった他県の事態は、本市ではどうなのか。
- 教職員の負担解消の取り組みについて、今後どのように進めていくのか。

# ○ 萩 原 活 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

- 1 「英語が話せるまち佐世保」のプロジェクトについて
  - 昨年度におけるプロジェクトの取り組み内容と実績、成果について
  - 「英語が話せるまち佐世保」の施策の展開、広報、周知について
  - 市民における英語力の実態について
  - 今後の取り組みと施策の展開について
  
- 2 国の再生可能エネルギー施策に対して佐世保市としての取り組みと考え方について
  - 国の再生可能エネルギー施策に対して佐世保市としての考え方について
  - 佐世保市のエネルギー事情をどう考えるのか。
  - 再生可能エネルギー事業の計画と、その進め方と手順について
  - 佐世保市として再生可能エネルギー事業に関して、市の方針としてのガイドラインが必要となるのではないかと考えるが、その必要性について
  
- 3 佐世保市道東山手上部線の早期着工に向けた計画について
  - 本年4月24日に開催された「都市計画道路春日瀬戸越線」の住民説明会の内容と結果について
  - 春日、大野、瀬戸越地区の交通渋滞緩和策には東山手上部線が有効とされているが、その実施計画が示されていない。その早期着工に向けた延伸実施計画について

# ○ 永 安 健 次 (30分)

【一括方式】

## 1 本市水産業の振興について

全国的に漁獲量の減少が続く中、本市の漁獲量は現状維持を保ちつつ、若干の微増も見られるところです。しかし、その流通においては能力に限界があり、多くの水産物が市外に流れているのが現状です。そこで、全国2位の水産都市として漁業者の活発な漁業活動を支えるためにも、課題解決に向けた取り組みが必要ではないかと思いますが、今後の産業政策についてお伺いします。

- 本市の漁獲量とその流通の実態把握について
- 流通形態の課題について

## 2 学校教育の方向性について

小・中学校学習指導要領の見直しにより、小学校での外国語教科の導入や道徳授業の教科化が進められようとしており授業時間の増加も示されています。そこで今後の学校教育の体制がどのように変わるのかお伺いします。

- 授業実数の増加に伴う対応について
- 本格導入時の課題について
- 今後の教育体制について

## 3 公営住宅の現状について

本市の公営住宅については、計画的な建てかえや住宅の集約化が図られている一方、長期にわたり募集停止されている公営住宅も見受けられ、具体的計画について示されていないところも多くあります。そこで、今後の公営住宅政策についてお伺いします。

- 公営住宅の現状と募集停止住宅の割合について
- 募集停止住宅の今後の進め方について



○ 草 津 俊 比 古

( 3 0 分)

【一括方式】

1 前畑崎辺道路の進捗状況について

- 今後の事業計画の考え方について
- 事業の推進体制について

2 今後の斜面密集市街地対策事業について

- 現在の進捗状況と完成年度の見通し
- 今後の事業展開について

3 都市計画道路下京町名切町線の今後の整備の進め方について

- 実現化に向けた検証について
- 早期整備に向けての市の考え方について

4 都市公園の整備について

- 公園整備の考え方について

# ○ 明 石 功 (30分)

【一括方式】

## 1 日野・椎木地区の浸水対策について

- 現在の進捗と市が実施している内水対策の今後の予定について
- 日野川改修工事完了、雨水の分水工事、椎木調整池のポンプ設置等完了時には日野・椎木地区の浸水被害、または道路の冠水は解消されるのでしょうか。

## 2 急傾斜地に関する取り組みについて

- 土砂災害に関するソフト対策の取り組みについて
- 急傾斜地の工事とあわせて道路を広げるような効率的な防災対策に関する取り組みについて
- 急傾斜施設の老朽化対策に関する市の取り組みについて

## 3 水道行政について

- 水道局庁舎の建てかえについて

## 4 てんかん疾病について

- てんかん疾患に対して本市の認識と今後の取り組みについて
- 学校におけるてんかん疾病への啓発活動について
- 高齢者てんかんについて

○ 小 野 原 茂

( 3 0 分)

【一括方式】

1 石木ダム建設促進について

- 佐世保市の既存ダムの実態及び今後の市政推進における石木ダムの役割について
- 石木ダム建設促進に向けた広報活動について

2 日本遺産を活用した観光振興について

- 平成 2 8 年に認定を受けた本市の二つの日本遺産の活用状況について
- 取り組みを通じた課題について
- 今後の活用推進について（立神音楽堂、S S K など官民連携、佐世保鎮守府 1 3 0 年など）

# ○ 崎 山 信 幸 ( 1 5 分)

【一括方式】

- 1 これからの人口減少局面における、それぞれの分野の人手不足対策について
- 国立社会保障・人口問題研究所において、2045年の佐世保市の人口は202,094人、長崎県全体では、982,200人との人口減少に対する厳しい予想がなされた。

介護・農業・建設・造船・宿泊（ホテル）等それぞれの分野でのさらなる人手不足が予想されるが、本市としても危機感を持ち、しっかりとした対策が必要ではないか。

現段階における考えをお尋ねいたします。

# ○ 林 健 二

( 3 0 分)

【一問一答方式（2回目から）】

## 1 玄海原子力発電所にかかわる避難対策について

本市には原発からの位置が30km圏内に江迎町、吉井町、世知原町の一部が含まれ、対象住民は10,037人（平成30年5月1日現在）が居住しています。地域防災計画に基づく住民の避難に対する不安の解消はエネルギー政策を主導する国の関係機関等並びに事業者である九州電力株式会社に対する働きかけを含め、長崎県とともに強く要請する必要があります。次の点について伺います。

- 佐世保市の避難計画における避難の際の問題点について
- 原子力災害対策に関する国への要望内容について

## 2 防災行政無線について

アナログ電波の使用期限は無線設備規則の改正に伴い、平成34年11月30日までにデジタル式に更新しなければならない。佐世保市では旧市域にデジタル式防災行政無線（60MHz帯）を整備し、本格運行を開始したが、アナログ式防災行政無線が残る北部エリア地域を初め、遠くない時期に到来する旧市域の整備済みデジタル同報系防災行政無線の更新整備も踏まえ、今後の整備計画の考え方及び進め方について、次の点を伺います。

- 北部エリア及び宇久地域の支所放送及び旧市域を含めた町内放送について
- 旧合併6町から存続要望があっている戸別受信機の課題とあわせて、全市域での難聴地域対策の基本的な進め方について
- 制限ある財源の確保と新たな情報伝達システムの積極的な活用検討等が急務だが、市民とのコンセンサスを得ながら、どのように整備計画を実施するつもりなのか。

### 3 消防団への加入促進について

消防団は地域の安全安心の中心として大変重要な役割を果たしていますが、全国的に消防団員数の減少、高齢化などさまざまな課題に直面しています。消防庁は、平成29年7月、「消防団等充実強化法」の施行を契機に、近年懸念される大規模災害への対応力や地域防災力の総合強化に向け、消防団への加入促進や団員の処遇改善等、一層の充実強化に取り組むよう、地方自治体に対して積極的な取り組みを求めています。そのことを通じて次の点について伺います。

- 公務員や大学生並びに女性等の消防団への加入・理解促進について
- 消防団の装備の集中的・計画的な配備について
- 経済団体や事業所への働きかけ及び消防団協力事業所に係る特例措置等の導入について
- 機能別団員制度等の活用について

# ○ 橋 之 口 裕 太 ( 1 5 分)

【一問一答方式（1回目から）】

## 1 子ども家庭福祉のあり方について

本市における子ども家庭福祉のあり方、特に児童センターについて市の考えを伺います。

## 2 L G B T（性的少数者）対応について

本市におけるL G B Tを含む多様性のあるまちづくりについて市の考えを伺います。

# ○ 田 中 稔

( 3 0 分)

【一括方式】

1 交通不便地区対策と福祉施策について

- 利用状況と課題について
- 日常的な通院患者（福祉パス）と高齢者（敬老パス）の利用について
- 福祉パス、敬老パスの今後の取り扱いについて

2 投票環境の向上への取り組みについて

- 当日の投票所の増設について
- 高校への期日前投票所設置について
- 指定施設における不在者投票について
- 投票日前日の期日前投票所の開設について
- 出前型（移動式）の期日前投票について

3 旧花園中学校跡地における九州文化学園小学校・九州文化学園中学校開校に伴う影響について

- 九州文化学園の計画の進捗状況について
- 私立学校が開校することによる公立学校への影響について

4 クルーズ乗船客の市内観光への周遊促進及び分散化について

- 交通渋滞、駐車場不足等の課題解消について



# ○ 久 池 井 一 孝

( 3 0 分)

【一括方式】

## 1 文化芸術拠点の充実について

平成30年度から平成34年度の5年間を期間として「文化芸術推進基本方針」が示され、文化財を観光資源として開花させ、観光コンテンツとして美術館、博物館、図書館の質の向上を図っていく施策に取り組まれることになっている。

### ○ 博物館島瀬美術センターの機能充実と環境整備について

(展示場・会議室・研修室・資料室等の整備、駐車場の確保、人員体制の充実)

### ○ 図書館の機能充実と環境整備について

(貸出館から滞在型を目指しての取り組み、駐車場の確保、郷土研究所の充実)

## 2 業務委託における最低制限価格の設定について

平成26年の改正品質管理法の公布施行を受け、平成27年には「発注関係事務の運用に関する指針」の運用が開始された。その指針の中で必ず実施すべき事項として、予定価格の適正な設定、歩切りの根絶、最低制限価格の設定・活用の徹底が示されている。

佐世保市は平成26年8月より、3業種の業務委託に対し最低制限価格制度を導入しているが、事業所や担い手の育成確保のために建設関連等の業務委託への最低制限価格制度の導入をすべきではないか。

### 3 ため池の防災減災対策と機能診断の取り組みについて

ため池は多面的な役割を担うとともに、異常災害による災害リスクも抱えており、平成25年度から平成27年度の3年間でため池の一斉点検が実施されている。

- 佐世保市の防災重点ため池の状況と機能診断などの取り組みについて
- ため池ハザードマップの作成状況と対象ため池の絞り込み方法について
- ため池の維持管理対応指針が示されているが、点検表の活用方法について

### 4 医療的ケア児に対する子育て支援について

- 市内の医療的ケア児の情報把握のあり方と、幼稚園・保育所への受け入れの現状について
- 入園希望があり、その児童の集団保育が可能と思われる成長段階に達した時点での受入体制の整備について

○ 森 田 浩

( 3 0 分)

【一括方式】

1 認知症対策について

- 高齢化社会に伴う認知症の現状
- セルフネグレクトの現状と対策
- カギを担う「初期集中支援チーム」の取り組み

2 困窮者支援について

- 困窮者支援の取り組みの現況
- 改正支援法における自立支援、進学支援
- 奨学金及び就学支援制度

3 幼児教育・保育無償化に向けた体制整備について

- 潜在的需要に対応する体制の充実と保育士確保
- 認可外施設等への対応
- 子育て支援策の拡充

4 高齢者の社会参加推進について

- 「ながさき生涯現役応援センター」の取り組み
- 同センターの本市への窓口新設と現状
- 高齢者も支え手となる社会に向けた本市の対応

# ○ 北 野 正 徳 ( 3 0 分)

【一問一答方式（１回目から）】

## 1 地域包括ケアシステムの構築について問う

本市においては老人福祉計画・第７期介護保険事業計画が策定され、「地域包括ケアシステムの深化・推進」が図られているが、２０２５年までに構築するとされている地域包括ケアシステムの現状について問うものである。また、地域包括ケアシステムにおいて中核的な役割を担う地域包括支援センターの活動について問うものである。

# ○ 永 田 秀 人 (20分)

【一問一答方式（2回目から）】

## 1 公文書管理について

2011年4月に公文書管理法が制定されて以降、公文書の管理についての条例制定や公文書館の設置などの取り組みが都道府県・市町村に広がっている。しかし、佐世保市では条例制定はなされておらず、文書に関する規定は佐世保市文書規程があるのみである。

一方、市立図書館の郷土資料室には旧海軍関係の資料なども保管されており、研究者の利用も多いと聞くが、これは行政文書の歴史的資料価値のあらわれとも言える。また、合併前の各自治体の公文書についても、その中の歴史的公文書を保存する必要がある。

先進事例も参考にしながら公文書管理の取り組みを推進すべきではないか。

## 2 債権管理の強化に関する取り組みについて

現在、市は未収債権の徴収強化のために債権管理対策室を設けて取り組みを進めている。これは必要な取り組みと考えるが、滞納者の中の生活困窮者等については配慮が必要と考える。その面で市の対応について質問する。

○ 滋賀県野洲市では、債務者が著しい生活困窮状態にある場合に債権の放棄などの対応ができるよう条例で定めている。本市でも類似の対応は考えられないか。

○ 多重債務者等への対応として、伊万里市ではファイナンシャルプランナーによる生活再建支援を行っており、これにより税の納付額に改善が見られたという。本市でも滞納の再発防止、滞納者の生活向上の両面から対応を考えるべきではないか。

### 3 陸上自衛隊相浦駐屯地記念式典に関する爆音問題について

本年4月19日、相浦地区上空を航空自衛隊のF2戦闘機が飛行した。その爆音は周辺住民を動揺させただけでなく、安全も脅かす面があった。同月28日の記念式典では、飛行高度を上げるなどの対応がなされたものの、事前の陸上自衛隊・九州防衛局の周知等は十分とは言えないと考える。

市として今回の問題にはどのように対応したのか。

また、今後の運用について、陸上自衛隊や九州防衛局にどのような対応を求めているのか。

# ○ 久 野 秀 敏

( 3 0 分)

【一括方式】

## 1 ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟について

ユネスコは、グローバル化の進展により固有文化の消失が危惧される中で、文化の多様性を保持するとともに、世界各地の文化産業が潜在的に有している可能性を、都市間の戦略的連携により最大限に発揮させる仕組みが必要であるとして、「ユネスコ創造都市ネットワーク事業」において、七つの分野で特徴のある都市を認定している。

- 加盟認定に向けた取り組みについて
- 加盟認定された場合の効果について

## 2 交流人口拡大に向けた取り組みについて

- 大型客船の拠点整備に伴う貸切バスの需要、供給体制について
- 大型客船寄港による経済波及効果の分析状況について
- ランドオペレーターの現状について
- 市内で開催されるイベントへの助成制度について

## 3 地域コミュニティ組織等への支援について

- 佐世保市市民活動保険制度の給付内容の拡充について
- 認知症患者の賠償責任保険について
- 町内集会所施設が火災被害を受けた場合の支援措置について
- 佐世保刑務所周辺町内会への支援について

# ○ 久 保 葉 人 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

## 1 老人クラブの支援について

- 人生100年時代の現代においては、一人一人が自立的に生き生きと活動できるような基盤を構築することが肝要である。高齢者の自立的な活動の場である老人クラブに対する本市の支援を問う。

## 2 旧東商高校跡地を活用した早岐のまちづくりについて

- 早岐地区の今後の開発において、重要な拠点の一つとなる旧東商高校跡地を活用した、早岐のまちづくりについて本市の考えを問う。

## 3 急傾斜地崩壊対策事業の促進について

- 本市には斜面地が多く、毎年降雨期には、崖崩れが発生し、多くの家屋等が被害を受けている。市民からの期待の厚い「急傾斜地崩壊対策事業」の促進について本市の考えを問う。

## 4 空き家対策事業について

- 本市には、数多くの、放置されて老朽化した空き家が存在するが、空き家は多くのリスクを抱え、今や市民の暮らしの脅威になっている。本市の「空き家対策事業」と今後の方針を問う。